

経営比較分析表（令和5年度決算）

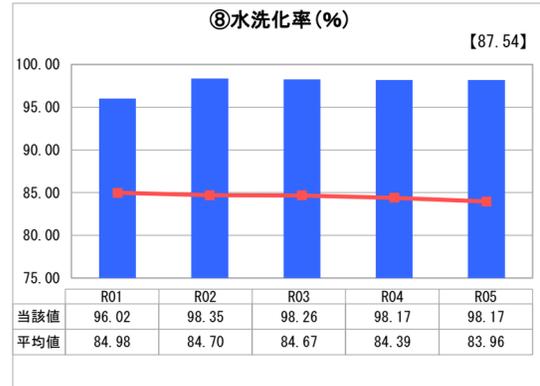
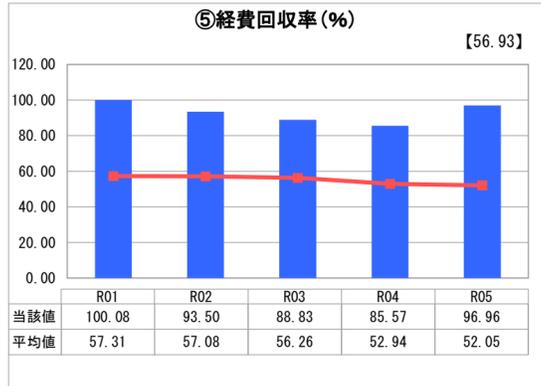
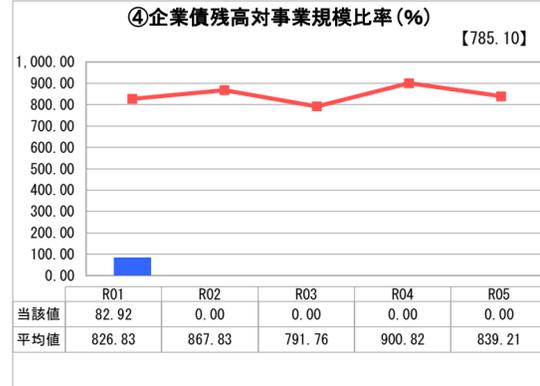
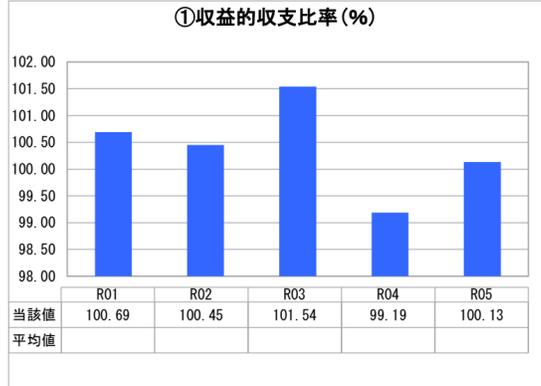
宮崎県 日之影町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	6.17	100.00	3,352

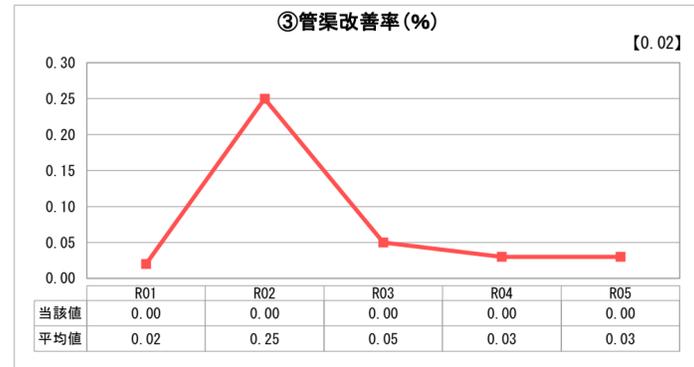
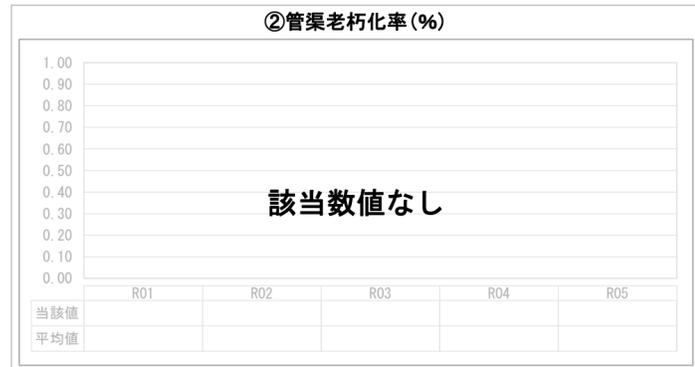
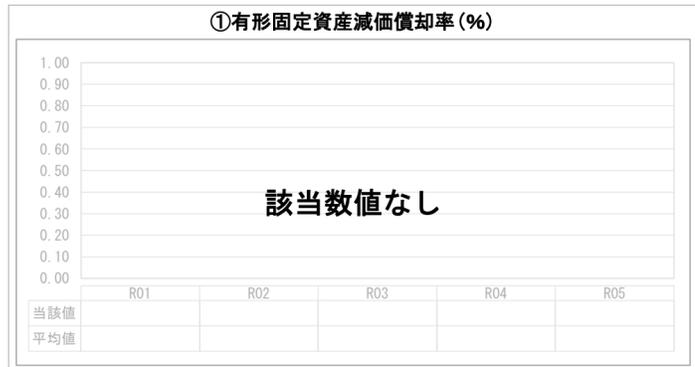
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,485	277.67	12.55
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
218	0.12	1,816.67

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町の農業集落排水事業は、比較的小規模な施設のため、利用者の増減、維持費の増減が各比率に大きく反映される。

収益的収支比率及び経費回収率は100%前後の水準で推移し、施設の維持費用について概ね料金収入で賄えているが、少子高齢化や都市部への人口流出を鑑みると料金改定を視野にいたした検討が必要である。

企業債残高対事業規模比率は、全国平均や類似団体と比べ低率だが、依然として財源の大半を一般会計に依存していることから、自立性の高い経営見直し求められる。

汚水処理原価は、有収水量は増えたが、大規模な修繕等がなかったことによる維持管理費の減少及び、令和6年度の法適用化にかかる委託料が打ち切り決算により計上されていないため前年度から大幅な減少となった。

なお水洗化率は全国平均を上回り、類似団体と比べても高い水準にあるため、今後も普及促進等を行い水洗化率の向上を図りたい。

2. 老朽化の状況について

施設運用開始から20年以上経過し、中継ポンプや計装盤等の設備更新の時期が近づいている。

中継ポンプについて予備のポンプを準備し、故障した際の対応準備は整えているが、その他の故障等は都度修繕の対応をしている。

今後、各設備の更新時期を迎えるため、以前行った機能診断等を元に事業計画を策定し、それに併せた施設の更新整備を行う必要がある。

全体総括

地形的要因などにより中継ポンプ等の設備投資が多い施設であるが、これからも経営の健全性を保つため、来年度の経営戦略の改訂とともに、今後の処理区域内人口の減少を見据え、維持管理費に見合った料金改定や最適な設備規模及び処理方法を検討していきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。